　　京劇講座　東京芸術劇場（池袋)　平成３０年６月１４日(木)

講師　加藤　徹

http://www.geocities.jp/cato1963/kg20180614.html

◎まずは物語の理解　つぎに京劇の理解◎

　京劇「項羽と劉邦　覇王別姫」(中国語原題『楚漢春秋』)は、京劇の２つの伝統演目

　　蕭何月下追韓信(ショウカ、ゲッカにカンシンをオう)

　　　　と

　　覇王別姫(ハオウ、ヒメとワカる)

を土台とした新作である。前半の主役は蕭何(漢王・劉邦の丞相)で、後半の主役は項羽(西楚の覇王)。

◎物語の時代背景◎

　物語は、司馬遷の歴史書『史記』の記述に基づく。　ただし芝居として史実を脚色した部分も。

　物語の時代は紀元前３世紀。　秦の滅亡から前漢の建国までの乱世。中国史の中でも早い時代である。

◎登場人物◎

　まず、この５人を覚えよう。出身地不明の虞姫を除き、全員、現在の江蘇省北部の出身。

　前半は「漢」の視点

　　　　韓信･･･新入社員　　　蕭何･･･専務　　　劉邦･･･社長

　後半は「楚」の視点

　　　　項羽　　　虞姫(虞美人)

◎「漢」とは？◎

　本来は、長江に合流する川の名前。「漢水」「漢江」。

　水源は、陝西省漢中市(島根県出雲市と姉妹都市。トキやパンダでも有名)の山。漢中盆地の一帯の地名を「漢」と呼んだ。

　ちなみに湖北省京劇院の住所は、漢江が長江と合流する「武漢市」にある。

◎「楚」とは？◎

「楚」は「左右の足のようにバラバラに離れた木」で、イバラや柴が原義。「清楚」(スッキリの意)の楚も同じ字。

　古代中国の南方の辺境地域を「イバラの地」と呼んだのが語源。ちなみに三国志の荊州の「荊」もイバラの意。

　楚の国土は「東楚」「西楚」「南楚」の三楚からなる。絶頂期の項羽はみずから「西楚の覇王」と号した。

◎項羽◎

　出自は楚の武門の名族。下相(江蘇省宿遷市)の人。

　身長８尺余(当時の１尺は約２３センチ)。２４歳で挙兵。天下の覇者となる。

　少年時代の名言。「文字は、自分の名と姓が書ければじゅうぶん。剣は１人と戦うだけ。学ぶに値しない。私は、万人と戦う兵法を学びたい」。結局、兵法もちゃんと学ばなかった。

◎略年表◎

　　前２５６年(前２４７？)　劉邦、誕生

　　前２３２年　　　項羽、誕生

　　前２３０年頃？　韓信、誕生

　　前２２１年　秦王政、｢始皇帝」に

　　前２１０年　始皇帝、死去

　　　各地で秦に対する反乱・挙兵

◎劉邦◎

　劉邦は農民出身で、親分肌の侠客。肩書きは沛県(江蘇省徐州市)の亭長(「道の駅」の駅長兼保安官)だった。

　徐州市は、愛知県半田市と姉妹都市で、項羽もここに都を置いた。

　蕭何はもともと沛県の下役人で、曹参・夏侯嬰は役人時代の彼の部下。

◎蕭何◎

「漢の三傑」の筆頭。

　劉邦の無名時代から「チーム劉邦」の実務を取り仕切った。人材登用や、後方からの物資の補給により、劉邦の勝利に貢献した。

　劉邦が漢王になると、蕭何は「丞相」(現在の総理大臣に相当)に任じられた。

　漢の三傑　　　蕭何・張良・韓信

　維新の三傑　　木戸孝允・西郷隆盛・大久保利通

◎韓信◎

　貧しい庶民の出。転職と就活で苦労する青年。

【漂母】【一飯千金】

　食事を恵んでくれる老女。若く貧しかった韓信に、洗濯をする老女が食事を恵んでくれた故事から。

【韓信の股くぐり】

　大志を抱く人は、目先の小さな屈辱に耐えて無駄な争いはしない、の意。

　歌川国芳の絵「韓信胯潜之図」

◎前２０６年の動き ◎

〇十月　(秦の顓頊暦=センギョクレキ=では十月を歳首とする)　劉邦が項羽に先んじて秦の都・咸陽を占領。故事成語【法は三章のみ】

〇十二月　「鴻門の会」(『史記』の名場面)。

　 　項羽、咸陽で破壊と略奪の限りを尽くす。

〇二月　項羽は「西楚の覇王」と号して、彭城(今の徐州市)に都を置く。 【故郷へ錦を飾る】【沐猴にして冠す】

　劉邦は項羽から、漢中の地に封ぜられる。【左遷】

◎劉邦軍は「桟道」を焼きながら西へ進み、漢中に入る◎

　　　　♪箱根の山は天下の岨　蜀の桟道　数ならず

　劉邦は、張良の策を容れ、自分が東進の野心を持たぬことをアピールするため、桟道を焼いた。

◎韓信、劉邦の「漢」で就活◎

　韓信は、無名の青年であったが、天才的な軍事的才能をもっていた。

　初め項羽の「楚」に仕えたが、重用されず、見切りをつけた。

　劉邦の軍師であった張良(漢の三傑の一人)は、韓信の天才を見抜き、劉邦あてに推薦状を書いた。

　韓信は、漢が仕えるに値する就職先かどうか見極めるため、あえて推薦状を見せず、自分の才能だけで面接に挑むが･･･。

◎蕭何は劉邦に韓信を推薦◎

　漢の夏侯嬰(劉邦と同郷の腹心)は、韓信の才能を見抜き、蕭何に韓信を推薦した。蕭何も、韓信と会話し、韓信の天才ぶりに驚いた。

　蕭何は韓信を大将軍に抜擢するよう、劉邦に進言する。しかし劉邦は･･･

◎韓信、漢に見切りをつける◎

　劉邦は、張良からの手紙にあった「推薦状を持参する賢者」の到来を待っていた。まさかその賢者が韓信のことだとは、さすがの劉邦も気づかなかった。

　韓信は、目のまえの自分の才能に気づかぬ劉邦に見切りをつけた。韓信は辞表を残し、夜、馬に乗って漢を去る。

◎蕭何、月下に韓信を追う◎

　夜。蕭何の使用人が報告する。

「韓信が夜逃げしました」

　蕭何はあわてて、みずから馬に乗り、韓信を追う。

　司馬遷の『史記』によると、劉邦から「他に何十人と逃亡してるのに、なぜ韓信のときだけ追いかけたのか」と聞かれた蕭何は【国士無双】と答えた。

◎韓信、漢の大将軍となる◎

　無名の若造だった韓信は、漢の大将軍に抜擢された。彼は、劉邦、蕭何、夏侯嬰、曹参、樊噲、呂馬通(呂馬童)らの前で、漢軍に【十面埋伏】の布陣の軍事演習を行う。

　翌年の前２０５年、「楚漢戦争」が本格化。韓信率いる漢軍は【明修桟道、暗渡陳倉】の計で、東への進出に成功。その後も韓信は【背水の陣】など天才的な作戦で勝利を重ねるのであった。

◎後半の物語　前２０２年　　覇王、姫と別る◎

　楚の項羽は「戦闘」「戦術」の天才で、腕っぷしも強く、戦場では無敗だった。

　漢の劉邦は、「漢の三傑」をはじめとする有能な部下たちをうまく使うことで、「戦略」と「(人事や補給力を含む)政治力」で項羽を追いつめた。

　項羽は、垓下の戦いで漢軍に包囲された。

　戦略を理解できなかった項羽は「天が我を滅ぼすのだ。私の戦いぶりのせいじゃない(天亡我、非戦之罪也)」とうそぶき続けた。

◎四面楚歌◎

　夜。垓下で楚軍を包囲する漢軍の陣地から、楚の歌が聞こえてきた。

「まさか、故郷の楚は、もう漢軍に占領されたのか」

　司馬遷の『史記』によると、項羽は、

　　　力 山を抜き 気 世を蓋う　　　 時 利あらずして 騅 逝かず

　　　騅の逝かざる 奈何すべき　　　 虞や虞や 若を奈何せん

と【抜山蓋世】の思いを【悲歌慷慨】し、妻の虞姫(虞美人)が唱和したという。

◎捲土重来の語源◎

　項羽は漢軍との壮烈な戦いの末、烏江の渡し場で自決した。「西楚四年」十二月(前２０２年の初め)だった。

　　　　題烏江亭　　杜牧 「烏江亭に題す」

　　　勝敗兵家事不期　　勝敗は兵家も事　期せず

　　　包羞忍恥是男児 羞を包み恥を忍ぶは是れ男児

　　　江東子弟多才俊 江東の子弟　才俊多し

　　　巻土重来未可知 巻土重来　未だ知るべからず

　「楚漢戦争」に勝利した漢王劉邦は皇帝に即位した(前漢王朝)。後方で兵馬と物資の補給を担当した蕭何が戦功第一とされ、韓信は楚王に封じられた。皇帝となった劉邦は功臣たちの粛清を始めるが、それはまた別の物語である。

◎虞美人草の伝説◎

　虞姫は、自分が項羽の足手まといになることを恐れ、自らの命を絶った。

　彼女の兄(虞子期)も最後まで項羽に付き従い、討ち死にした。

　後世の説話によると、虞姫が自決したとき流れた血から、真っ赤なヒナゲシの花が咲いた。ヒナゲシの前で楚の歌を歌うと、風がないのにゆらゆらと舞う。人々は虞姫の魂の生まれ変わりであるヒナゲシを「虞美人草」と呼ぶようになった。

◎故事成語の宝庫の時代◎

　漢と楚の戦いの記憶は、歴史物語として、今も語りつがれている。

【多々益々弁ず】【将に将たる器】など、韓信や劉邦ゆかりの故事成語は多い。

◎京劇についての基礎知識◎

　京劇は、１８世紀の末に北京で誕生した伝統演劇である。京劇のコンセプトは、日本の能狂言や歌舞伎と似ている点も多い。

〇写実より「写意」

〇個人より「古人」

〇「述べて作らず」　音楽も「作曲」ではなく「節付け」

◎京劇役者のことわざ◎

〇器用な役者は大成しない

　台上三秒鐘、台下三年功。

　「舞台上の三秒間、舞台外の三年間」

〇演技の型を極めよ

　　守成法而不拘於成法、脱成法而不背乎成法。

　「常識知らずになるな。常識破りになれ」

〇写実を超えたリアルさを目指せ

　不像不成戯、真像不是藝。

　「それらしくなきゃ芝居じゃない。そのまんまなら芸じゃない」

〇ＴＰＯをわきまえよ

　　寧穿破、不穿錯。

　「間違いを着るくらいならボロを着ろ」

◎京劇の演技の約束事◎

〇小道具・衣装について

　　手にムチを持つ　→乗馬中

　　ムチの色　→乗っている馬の色

　　大鎧の騎馬武者の立ち回り　→騎馬戦

　　頭にかぶりものがない　→大ピンチ

◎化粧法は３種類◎

☆「きれいな顔(俊扮)」

　美男美女ではない一般人も含め、美男美女風に化粧をする。韓信と兵士、虞姫と侍女兵も、メイクは同じ。

☆ 「くまどり」

　豪傑と道化役は隈取を描く。項羽と樊噲は豪傑の隈取。夏侯嬰と大宦官は道化役の隈取。

☆ 「その他」　右の二つ以外。

◎セリフや音楽について◎

〇京劇の言葉

「古人」の役は高い声の古雅な言葉を使う(韻白)。庶民の役や道化役は、普通の中国語で演ずる（京白）。韻白は能の言葉、京白は狂言の言葉にあたる。

〇京劇の音楽

　作曲よりも「節付け」。楽隊の位置は舞台の上手(むかって右)の奥。

　京劇公演事務局「楽戯舎」のサイトに楽器の写真と解説あり。

◎どうぞ芝居をお楽しみください◎

加藤徹のホームページ　 http://www.geocities.jp/cato1963/

以上